

講義科目 : 社会科学演習	単位数 : 4
担当 : 石原 洋介	学習形態 : 必修科目
	* 第2学年で履修

### 講義の内容・方法および到達目標

- ・ 教員の指導の下、指定したテキストを用い、現代社会に関する学びを深める。とりわけ本演習では、国際経済、国際金融を中心に学ぶ予定である。
- ・ テキストの各章のまとめと報告を学生が担当し、学生同士で意見交換や議論をすることで、テーマに関する理解を深めるとともにプレゼンテーションやディスカッションの能力を向上させる。
- ・ 夏季休暇に1部石原ゼミが行う課外研修への参加を希望する2部ゼミ生は参加を認める。課外研修では、東京にある日本銀行、東京証券取引所等を見学することでその役割と機能の理解を深める。なお、参加希望者には、課外研修参加費の多くが自己負担（一部ゼミ補助あり）になることをあらかじめ承知しておいていただきたい。
- ・ ゼミ生には、まとまった分量の文章を論理的に書く能力を養うことを目的として卒業論文を執筆してもらう予定だが、夏季に開催される小論文・作品コンクールへの小論文提出をもって卒論の代替とすることを認める。

### 授業計画

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1) ゼミ内委員決定・年間計画     | 16) 卒業論文指導            |
| 2) SDGsとは何か         | 17) 大学祭の企画立案          |
| 3) 経済、社会、環境の統合      | 18) 農民工はどこへ行くのか*      |
| 4) SDGsの目標1-9       | 19) 国有企業改革のゆくえ*       |
| 5) SDGsの目標10-17     | 20) 制度とイノベーション*       |
| 6) 企業の取組と課題         | 21) 日中経済関係の今後*        |
| 7) SDGs金融と企業行動の計測   | 22) 米中金融戦争のはじまり*      |
| 8) 自治体における取組と課題     | 23) 中国・人民元国際化と通貨覇権争い* |
| 9) 皆の目標としてのSDGsへ    | 24) 中国の繁栄に果たす香港の役割*   |
| 10) SDGsのこれから       | 25) 通貨送金を巡る米中覇権争い*    |
| 11) 中国の統計の信頼性*      | 26) 為替レートの仕組みと人民元レート* |
| 12) 金融リスクを乗り越えられるか* | 27) 米国による為替操作国認定*     |
| 13) 不動産バブルを止められるか*  | 28) 米中金融戦争の今後*        |
| 14) 経済格差のゆくえ*       | 29) 卒業論文指導            |
| 15) 卒業論文中間報告        | 30) 全体のまとめ            |

\*なお、講義内容は諸事情により変更する可能性がある。

### 教材・テキスト・参考文献等

下記のテキスト①を最初のゼミまでに購入しておくこと。

- ① 蟹江憲史『SDGs（持続可能な開発目標）』（中公新書）
  - ② (仮) 梶谷懐『中国経済講義』（中公新書）
  - ③ (仮) 戸田裕大『米中金融戦争』（扶桑社新書）
- 2冊目以降のテキストは仮であり、ゼミ生と相談して決定する。

### 成績評価方法

平常点（討論への参加意欲及び出席）およびゼミでの報告、卒業論文または小論文・作品コンクール提出論文の出来などを総合的に評価する。